

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.69

令和4年度 広島県PTA連合会会員研修会 「激動の時代を幸せに生きるために知っておきたい5つの捉え方」

令和4年12月3日(土) ホテル 広島ガーデンパレス



株式会社アビリティ
トレーニング
代表取締役
木下 晴弘氏

会場でのリアル講演会とWeb配信の両方での開催となった今回の研修会は、株式会社アビリティトレーニング代表取締役 木下晴弘氏をお迎えして「激動の時代を幸せに生きるために知っておきたい5つの捉え方」と題して講演していただきました。

5つの捉え方として①「格差は捉え方の違いから生まれる」②「生かされているという捉え方をすると自分の役割に気付ける」③「モチベーション維持は外発と内発のダブルアプローチ」④「子どもの幸せは存在承認こそがすべての源」⑤「眼前の課題は自分に変えていく力があるという捉え方」という非常に興味深い視点を提示していただきました。視点もさることながら、その具体例の分かりやすさに実践への意欲が湧きました。

そしてもう一つ、この5つの捉え方を実践するに当たり一貫する大切な視点をいただきました。それは「現象に惑わされず、本質を見抜く」ということです。現象は目に見えるが、本質は目に見えないとも。さて「目に見えないもの」をどう「見抜く」のか、それがどう「幸せ」につながっているのか…日々、自身に問いかけていきたいです。



～ プロフィール ～

1965年大阪府生まれ。同志社大学卒業後、銀行に就職するが、学生時代大手進学塾の講師経験で得た充実感が忘れられず、退職して同塾の専任講師になる。生徒からの支持率95%以上という驚異的な成績を誇り、多数の生徒を難高校をはじめとする超難関校合格へと誘う。その後、関西屈指の進学塾の設立・経営に役員として参加。「授業は心」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は生徒、保護者から絶大な支持を得た。以後10年間にわたり、講師および広報・渉外・講師・研修など様々な業務を経験。現在、株式会社アビリティトレーニングの代表取締役として、全国のエducational機関で、教員・保護者・生徒向けのセミナーを実施している。そしてそのセミナーは様々な分野の各企業からも注目され、いまやセミナー受講者は380,000人を超えている。

【主な著作】

- ココロでわかると必ず人は伸びる（総合法令出版）
- 人生が180度変わる 幸せの法則（総合法令出版）
- 子どもが心から勉強好きになる方法（PHP研究所）
- できる子にする「賢母の力」（PHP研究所）
- 涙の数だけ大きくなれる！（フォレスト出版）
- 学校では教わらなかった人生の特別授業（フォレスト出版）

- しあわせの教科書（アチーブメント出版）
- にじいろのボタン（しちだ・教育研究所）
- ココロでわかれば、人は“本気”で走り出す！（ごま書房新社）
- シグマベスト高校入試 合格へのベストアプローチ 数学 図形（文英堂）
- シグマベスト高校入試 合格へのズバピタ数学 図形（文英堂）

研修会後のアンケートにて、お寄せいただいたご感想の一部をご紹介します

とても明るく面白く、話が分かりやすい先生で、すぐにのめり込みました。すごく良かったです。子供たちとの関わり方を教えていただきありがとうございました。ただ教えるだけでなく、どうしてそうなのかという過程が大切だと分かりました。長所を伸ばしていけるように、努力をしていきたいと思いました。



現象と本質、目的と目標、自分は教わらず育ってしまったと感じました。目からうろこでした。子供には是非伝えていきたいです。



人との関わりを大事にしていけたらと思います。貴重なお話をありがとうございました。



素晴らしい講演でした！先生の講演家としての構成や雰囲気、話し方のレベルが高すぎて驚きました。

多くの具体的事例をわかりやすい映像やスライドでご披露いただき、勉強になるとともに、感動で涙が止まりませんでした。見事に心を掴まれました。ありがとうございました。



熱意のある講演で感動しました。そして、わかりやすく動画も挟まれ、飽きることなく集中して聴けました。



これからの子育てに活かすとともに自分自身の人生にも向き合っていきたいと感じました。また、続編として木下先生の講演を是非聴きたいです!!



今回の木下先生の講演内容は会場への参加、又は後日配信形式で会員の皆様にお届けしました。アンケートにお答えいただいた方から、運営についての改善意見などいただきました。今後の研修会のために生かしていきたいと思います。不備な点があったことをこの場をおかりしてお詫び申し上げます。より良い会員研修会のあり方を今後も考えていきたいと思いますので、アンケート等にご協力いただき、皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。よろしくお願いいたします。



令和4年度日本PTA年次表彰式

令和4年11月18日(金)

ホテルニューオータニ(東京)にて
～広島県からは個人2名・2団体の表彰～



PTA活動にあたり、顕著な功績を挙げた全国の団体及び個人を表彰する「令和4年度年次表彰式」が東京のホテルニューオータニで開催されました。

表彰された団体や個人の皆様、本当におめでとうございます。広島県の表彰団体・個人は次のとおりです。

公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰	
個人	山田洋子(広島県PTA連合会前副会長)
個人	佐々木健作(広島県PTA連合会前副会長)
団体	東広島市PTA連合会
団体	福山市立川口東小学校PTA



おめでとう!

広島県教育委員会との意見交換会を開催 ～一緒に考えていきたい子ども達の未来～ 令和4年12月2日(金) 自治会館

広島県教育委員会と広島県PTA連合会との意見交換会が、12月2日に自治会館会議室において開催されました。

本会には、広島県教育委員会から総括官様をはじめ各課課長等が出席され、県P連からは山本会長ほか7名が参加しました。最初に山本会長から重森総括官様に「意見交換項目」の一覧が手渡され、それに対して各課から回答を頂き、協議をするという形で進められました。

教員不足については、毎年のように各都市PTAから要望があがってきます。今後も教員確保に向けて県教育委員会としても全力で取り組むとの回答をいただきました。

勤務時間の適正化については、県教育委員会としても喫緊の課題として取り組まれています。「すべては子どもたちのために」という思いを一つに、学校と保護者・地域、行政が一枚岩となり、改革を進めていくとのことでした。

部活の指導員確保については、部活を円滑に進めていくために、それぞれの地域の課題に応じた解決が必要と回答をいただきました。引き続き国や地域の団体等とも連携をしながら市町教育委員会へ支援を行っていくとのことでした。

県教育委員会とは毎年2回意見交換会を開催しています。各都市PTAからいただいた要望等を直接県教育委員会に伝え、子どもたちの素晴らしい未来のために一緒に考えるよい機会になっています。また、各都市PTA連合会の事務局へは県教育委員会からの回答の概略を付記した文書を送付しておりますので、詳しい内容については、各都市PTA事務局へお問い合わせください。

【意見交換された項目】

1. 教職員定数の柔軟配置について
 - ・教員不足の解消
2. 教職員の働き方改革について
 - ・勤務時間の適正化
 - ・部活の指導員確保



3月、わけぎ（分葱）のおいしい季節です ～広島県産の旬の食材について～

昨年12月、ある新聞の朝刊で、「福山クワイ、出荷量半減」という見出しの記事を見付けました。お正月のおせち料理に登場する縁起物で、全国一の生産量を誇る広島県福山市のくわい（慈姑）の出荷量が、この10年間でほぼ半減しているそうです。

福山市といえば、築城400年を迎えた福山城では、数多くの記念イベントも開催されています。福山市内のくわい栽培は、沼地で自生していたくわいを明治35年に福山城のお堀に植えたのをきっかけに始まったそうです。

歴史ある福山城で始まり、120年以上の伝統あるくわい栽培。地場産物として知られ、県内の学校給食でも提供され、全国から需要があります。それなのに、出荷量が半減？ 高齢化で生産農家が半減し、田園の宅地化で、農地の確保も難しくなっていることが理由として挙げられています。

さて、今年度、「ひろしま給食推進プロジェクト」では、学校の食に関する指導で活用することを主な目的として、秋から冬に旬を迎えるわけぎを題材とした食育教材動画を作成し、ホームページに掲載しています。「ぬた」は、わけぎの代表的な料理ですね。



「ひろしま給食推進プロジェクト」ホームページより



このわけぎも、くわいと同じく、広島県が全国一の生産量を誇っています。尾道市や三原市で多く生産されているわけぎ、その7割が関西地方へ出荷されるそうです。関西地方への出荷量が多いのは、わけぎを食べる習慣がある行事と関係があるようです。

では、わけぎとねぎは、何が違うのでしょうか？

わけぎは、どうやって栽培するのかご存じですか？種をまくのではないんです。

わけぎの生産量は、この10年間で増えているのでしょうか、それとも

減っているのでしょうか？

これらについて詳しくは、「ひろしま給食推進プロジェクト」ホームページから動画をご覧ください、わけぎをはじめ広島県産の旬の食材について、お子様と一緒に考えたりお話ししたりするきっかけにいただければと思います。



■広島県教育委員会「ひろしま給食推進プロジェクト」ホームページ

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/juten-kyusyokusuisin.html>)

広島県教育委員会 豊かな心と身体育成課



楽しむ読書 役立つ読書

15

～“読書による学び直し”から始めてみませんか～

最近「リカレント教育」や「リスキリング」など“大人の学び直し”が話題になっています。

「リカレント教育」は社会に出た後も必要に応じて教育機関で学び直し、再び社会へ出ていったり、仕事を続けながら教育を受け続けたりすることを、「リスキリング」は今後新たに発生する業務で役立つ、新しいスキルや技術を学ぶことを指します。これらが注目される背景には、日本人の平均寿命の延びとキャリアアップ、キャリアチェンジなどの働き方改革、技術革新の急速な進展などが大きく関わっているようです。

学校を卒業した後も、新たな知識やスキルを身につける学び直しは、生き方や働き方の選択肢を増やし人生の幅を広げることにつながるのではないのでしょうか。

学び直しをするに当たっては、大学や専門学校等での学びや通信講座の受講など、様々な方法がありますが、最も身近な学び直しの方法に「読書」があります。

学び直しの大きなハードルの一つは「時間」だと言われています。仕事に家事に子育てに…忙しい毎日を過ごす中で、勉強などに充てる時間の確保が難しいと感じている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

そういった中、読書なら自分の好きな時に始めたり、止めたりすることができます。私も最近、電子書籍リーダーを持ち歩くようになりましたが、電車の移動時間や人と会う約束の待ち時間など、スキマ時間を有効に使うことができるのは大きなメリットだと感じています。



気軽に手に取れる本は、学び直しの入口にぴったりです。読書から始めてみて、より発展的に学びたいことができたなら、自分の生活スタイルや目的に合った方法で学んでみるのはいかがでしょうか。

(広島県教育委員会生涯学習課 日笠 俊嗣)



3月で卒業される児童生徒のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

8月の日本PTA全国研究大会広島大会まであと5ヶ月。

広島県PTA連合会も大会準備でますます忙しくなりそうです。

これから各都市町から集まったメンバーで力をあわせ「陽だまり」を発行していきます。1年間お読みいただきありがとうございました！

(呉市：脇原 安芸高田市：佐藤 江田島市：川空 東広島市：西村 世羅郡：生田)



充実の補償で お子様を サポートします

- 誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ（職場体験）等に起因する法律上の賠償責任も対象になります。

- 授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気*の補償

*病気入院補償はHプラン・Wプランのみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引30%
損害率による割引30%適用
メディカルアシストでお子様の健康相談を24時間受付

- 学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償
- 育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペトナムです。

この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。

詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

令和5年2月作成 22TC-102377



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

パンフレット・重要事項説明書は左記「お問合せ先」にご請求下さい。

あいおいニッセイ同和損保

MSK AIOI INSURANCE GROUP